

再 評 価 項 目 調 書

再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ● 再評価後 (5 年) ○ その他 ()					
1 事 業 概 要	事業名	たまつるがわ 玉鶴川 総合流域防災事業					
	事業場所	下松市 ^{にしとよい} 西豊井 地内					
	事業主体	山口県					
	事業期間	《 前回評価 平成 27 年 時 》 平成 13 年度 ~ 令和 13 年度 《 令和 13 年度 》 (西暦 2001 年度 ~ 西暦 2031 年度 《 西暦 2031 年度 》)					
	総事業費 (内用地補償費)	《 4,608 百万円 》 4,608 百万円 (2,737 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	1,039 百万円 (464 百万円)	進捗率 (用地補償費)	23 % (17 %)	
	事業目的	たまつるがわ 玉鶴川は、下松市 ^{にしとよい} 西豊井 ^{いてんのうだい} 天主台付近を源とし、下松市中央部を流れ瀬戸内海に注ぐ、流域面積 1.1km ² 、流路延長1.4kmの二級河川である。 玉鶴川流域のうち、事業区間周辺には、商業施設や家屋が立地しており、JR山陽本線や県道徳山下松線等の主要な交通網も整備されている。 しかしながら、当該区間は、洪水に対する安全度が低く、平成5年8月の豪雨や平成21年7月の豪雨により浸水被害が発生していることから、河川改修を実施し、浸水被害の軽減を図る必要がある。					
	事業内容	延長 L=1,280m (河道掘削工、護岸工、橋梁工) 洪水対策の整備規模 年超過確率 1/30					
事業効果	年超過確率1/30の洪水時における浸水被害防止効果 浸水戸数 788 戸 → 0 戸 浸水面積 41 ha → 0 ha 被害額 8,503 百万円 → 0 百万円 平成5年8月豪雨の洪水時における浸水被害防止効果 浸水戸数 153 戸 → 0 戸 浸水面積 14 ha → 0 ha						
2 再 評 価 の 視 点	(1) 社会経済情勢の変化	浸水想定区域内では、前回評価から世帯数が増加し宅地化も進んでいることから、治水対策の必要性は依然として高い。 【浸水想定区域内の状況変化（国勢調査）】 《西豊井地区ほか》 ○人 □： 1.00倍 (7,313/7,281人) <H27/H22> ○世帯数： 1.04倍 (3,322/3,206世帯) <H27/H22> 《参考：県全体》 ○人 □：0.97倍 (1,405/1,451千人) <H27/H22> ○世帯数：1.00倍 (597/596千世帯) <H27/H22>				中項目 評価	大項目 評価
	関係市町及び地元の意向	当該事業は、自治会、水利権者等の地元関係者や学識経験者等により構成する川づくり検討委員会です承されている。また、これまでの浸水被害の経験から、地元自治体である下松市や地元住民からの被害軽減に対する要望は強い。				中項目 評価	

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果 分析等	(単位：百万円)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th rowspan="3">主な項目</th> <th colspan="3">今回(再々評価) (基準年：R2)</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th colspan="2">前回 (基準年：H27)</th> <th rowspan="2">残事業</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">便益 (B)</td> <td>①一般資産被害軽減便益</td> <td style="text-align: right;">13,137</td> <td style="text-align: right;">25,166</td> <td style="text-align: right;">15,106</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②農作物被害軽減便益</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③公共土木施設等被害軽減便益</td> <td style="text-align: right;">22,254</td> <td style="text-align: right;">18,693</td> <td style="text-align: right;">11,172</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td style="text-align: right;">2,426</td> <td style="text-align: right;">4,932</td> <td style="text-align: right;">3,172</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td style="text-align: right;">37,817</td> <td style="text-align: right;">48,791</td> <td style="text-align: right;">29,450</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td style="text-align: right;">4,013</td> <td style="text-align: right;">4,318</td> <td style="text-align: right;">2,708</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td style="text-align: right;">453</td> <td style="text-align: right;">471</td> <td style="text-align: right;">300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: right;">4,466</td> <td style="text-align: right;">4,789</td> <td style="text-align: right;">3,008</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比(B/C)</td> <td style="text-align: right;">8.5</td> <td style="text-align: right;">10.2</td> <td style="text-align: right;">9.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	主な項目	今回(再々評価) (基準年：R2)			備考	前回 (基準年：H27)		残事業	全体事業	全体事業	便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	13,137	25,166	15,106		②農作物被害軽減便益	0	0	0		③公共土木施設等被害軽減便益	22,254	18,693	11,172		④その他の便益	2,426	4,932	3,172		総便益	37,817	48,791	29,450		費用 (C)	①事業費	4,013	4,318	2,708		②維持管理費	453	471	300		総費用	4,466	4,789	3,008		費用便益比(B/C)		8.5	10.2	9.8		大項目 評価
	区分	主な項目	今回(再々評価) (基準年：R2)			備考																																																													
			前回 (基準年：H27)		残事業																																																														
			全体事業	全体事業																																																															
便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	13,137	25,166	15,106																																																															
	②農作物被害軽減便益	0	0	0																																																															
	③公共土木施設等被害軽減便益	22,254	18,693	11,172																																																															
	④その他の便益	2,426	4,932	3,172																																																															
	総便益	37,817	48,791	29,450																																																															
費用 (C)	①事業費	4,013	4,318	2,708																																																															
	②維持管理費	453	471	300																																																															
	総費用	4,466	4,789	3,008																																																															
費用便益比(B/C)		8.5	10.2	9.8																																																															
			<p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>○根拠マニュアル 治水経済調査マニュアル(案)令和2年4月 国土交通省水管理・国土保全局</p> <p>○各便益の説明</p> <p>①一般資産被害軽減便益：整備により軽減される家屋、事務所、農漁家の資産被害額</p> <p>②農作物被害軽減便益：整備により軽減される農作物被害額</p> <p>③公共土木施設等被害軽減便益：整備により軽減される公共土木施設等(道路、農地、農業用施設等)の被害額</p> <p>④その他の便益：施設の残存価値、整備により軽減される営業活動停止損失および応急対応にかかる費用</p>				大項目 評価																																																												
			<p>事業延長1,280mのうち、西市橋及び人道橋の架け替え、西市橋上流約120mにおいて右岸側の護岸工が完了した。また、下松市による土地区画整理事業と連携し、JR山陽本線から上玉鶴橋の一部区間の護岸工が完了したことに伴い、洪水に対する防護機能が向上している。</p> <p>今後も計画的な事業進捗が見込まれることから、引き続き、河道掘削工や護岸工、橋梁工等の河川改修を行い、浸水被害の軽減に努める。</p>				大項目 評価																																																												
			<p>【事業費の変化】 有 (無)</p> <p>【事業期間の変化】 有 (無)</p>				大項目 評価																																																												
			<p>発生土砂の現場内流用や他工事への流用を積極的に行い、土砂の有効利用を図る。</p>				中項目 評価																																																												
			<p>代替案として「放水路案」などが考えられるが、経済性等の観点から、現計画の「河川改修案」が妥当である。</p>				中項目 評価																																																												
			<p>● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止</p>				大項目 評価																																																												
			<p>事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。</p>				大項目 評価																																																												
			<p>備考</p>				大項目 評価																																																												
			<p>発生土砂の現場内流用や他工事への流用を積極的に行い、土砂の有効利用を図る。</p>				中項目 評価																																																												
			<p>代替案として「放水路案」などが考えられるが、経済性等の観点から、現計画の「河川改修案」が妥当である。</p>				中項目 評価																																																												
			<p>● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止</p>				大項目 評価																																																												
			<p>事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。</p>				大項目 評価																																																												
			<p>備考</p>				大項目 評価																																																												

たまつるがわ 玉鶴川 総合流域防災事業



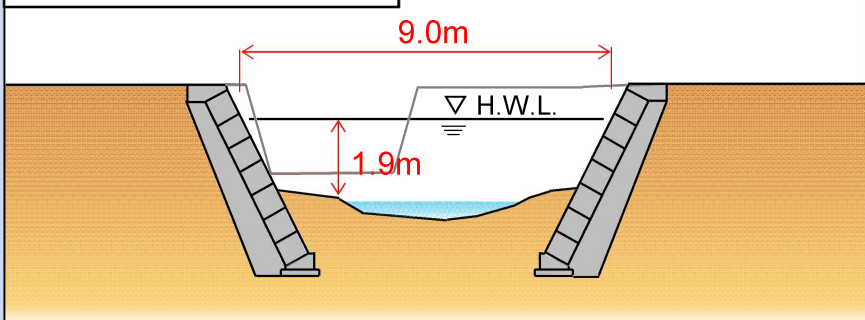
事業区間 (玉鶴川)



過去の浸水状況 (H5. 8)



標準断面図 (西市橋上流)



この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。